



エコアクション21 環境経営レポート

2020 年度版

(運用期間 2020 年 4 月～2021 年 3 月)



2021 年 6 月 1 日発行

大高建設株式会社

目 次

1	環境経営方針	1
2	会社概要	2
3	エコアクション 21 の対象範囲	3
4	エコアクション 21 の実施体制	3
5	環境経営目標	4
6	環境経営計画	5
7	環境経営計画に基づき実施した取組内容	6
8	環境経営目標の実績	8
9	環境経営計画の取組結果とその評価	9
10	次年度の環境経営目標及び環境経営計画	11
11	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	12
12	代表者による全体評価と見直しの結果	12

1 環境経営方針

経営理念

顧客の期待に応え 技術の真髄を追求し
品質と安全を確保し 社員に幸せを与え
地域社会に貢献する

環境経営方針

【基本理念】

大高建設は、地域に貢献する建設会社として、積極的に環境経営に取り組み、環境保全に努めることにより、環境経営の継続的改善に努める

【行動指針】

- 環境保全の重要性を深く認識し、事務所および建設現場における二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・排水量の削減に努めます。
- 物品・資材のグリーン購入を促進するとともに、環境に配慮した計画・設計を提案し、環境負荷の低減に資する工法や作業を採用します。
- 地域社会における環境保全活動に積極的に参加します。
- 適用される環境関連法規を把握し、それらを遵守します。
- 具体的な環境経営目標および環境経営計画を全従業員で共有し、目標達成に向けて工事関係者に理解を求める。

制定：2011年8月11日

改正：2020年4月1日

大高建設株式会社
代表取締役

大木 孝一郎

2 会社概要

(1) 事業所名 大高建設株式会社
代表者名 代表取締役 大木 孝一郎



(2) 所在地 〒812-0006
福岡市博多区上牟田 1 丁目
29 番 6 号

(3) 事業内容 建築及び土木の設計ならびに施工
URL <https://www.o-taka.com>

(4) 事業規模

事業年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
売上高 (百万円)	2,585	4,772	4,764
従業員数(人)	47	46	45
床面積 (㎡)	1,457	1,457	1,457

(5) 事業年度 4 月～翌 3 月

(6) 設立年月日 1975 年 3 月 25 日

(7) 資本金 9,500 万円

(8) 建設業の許可 福岡県知事許可 (特-3) 第 5790 号
建築工事・土木工事・大工工事・左官工事・とび工事・土工工事・
石工事・屋根工事・タイル工事・れんが工事・ブロック工事・鋼構
造物工事・鉄筋工事・ほ装工事・板金工事・ガラス工事・塗装工事
・防水工事・内装仕上工事・熱絶縁工事・建具工事

(9) 建築士事務所登録

大高建設株式会社一級建築士事務所
福岡県知事登録 第 1-10690 号

(10) 環境管理責任者 常務取締役 濱田 幸弘

(11) 連絡先 管理部 宮崎 貴司
TEL : 092-414-2222 FAX : 092-414-2226
E-mail: t.miyazaki@o-taka.com

3 エコアクション21の対象範囲

・エコアクション21は、当社の全組織(本社)、全活動を認証・登録の対象範囲としています。

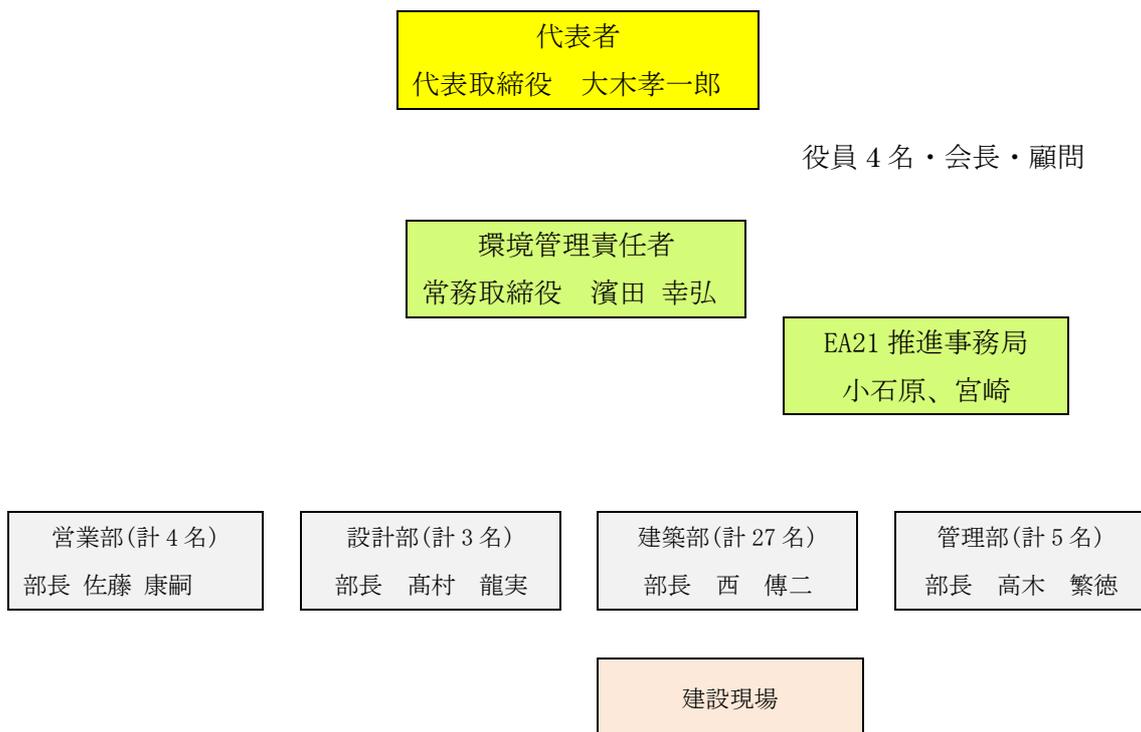
- (1) 対象事業所 本社
- (2) 対象事業活動 建築及び土木の設計ならびに施工

4 エコアクション21の実施体制

・エコアクション21の実施・運用に当たっては、現業務組織の体制を基本に、以下のよう
な実施体制を構築し、役割・分担を決めて全社員で取り組みました。

EA21 実施体制

従業員数 45 名

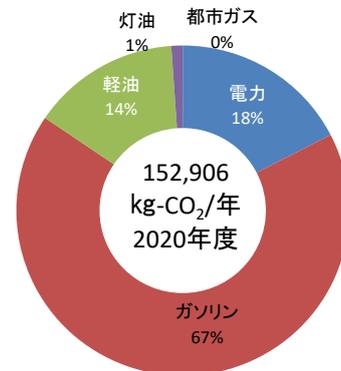


5 環境経営目標

・環境経営方針の経営理念や行動指針を具現化するために、以下に示す環境経営目標を策定しました。

・環境経営目標は今回 3 カ年の中期目標として改定したもので、2019 年度の環境負荷の実績を基準に、サイト別（本社、現場、全社）に 6 項目 10 目標を設定し、当社の最大の環境負荷である二酸化炭素排出量に対しては、2022 年度までに基準年の 3%削減を目指しています。

当社のエネルギー別CO₂排出構造



環境経営目標	単位	サイト 区分	基準年	単年度目標	中期目標	
			2019 年度 (2019. 4~2020. 3) 実績値	2020 年度 (2020. 4~2021. 3)	2021 年度 (2021. 4~2022. 3)	2022 年度 (2022. 4~2023. 3)
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	全社	164,345	162,702 (▲1%)	161,058 (▲2%)	159,415 (▲3%)
	kg-CO ₂ / 億円	全社	3,444	3,410 (▲1%)	3,375 (▲2%)	3,341 (▲3%)
	(1) 電気使用量の削減	kWh	75,444	74,689 (▲1%)	73,934 (▲2%)	73,180 (▲3%)
	(2) ガソリン使用量の削減	L	43,247	42,815 (▲1%)	42,382 (▲2%)	41,950 (▲3%)
2 廃棄物排出量の削減						
	(1) 一般廃棄物（可燃ごみ）排出量の削減	kg	1,452	1,452	1,452	1,452
	(2) 産業廃棄物排出量の削減	% (リサイクル率)	96	85	85	85
3 水使用量の削減	m ³	本社	249	249	249	249
4 グリーン購入の定着	% (購入額比率)	本社	65	65	65	65
5 設計・施工における環境配慮の推進	件	全社	9	9	9	9
6 社会貢献の推進 (地域ボランティア活動参加)	人	全社	12	12	12	12

備考) ・() 内は基準年に対する削減率を示す。

・基準年売上額は 47.72 億円とした。

・電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力㈱の 2019 年度調整後排出係数 (0.370 kg-CO₂/kWh) を用いた。

・化学物質は自社での使用実績がないため目標から除外した。関係業者が使用する場合は SDS (安全データシート) を提出させて、適正管理を実施している。

6 環境経営計画

・環境経営目標を達成するために、2020年度は次のような環境活動を実施しました。

No.	環境経営目標	取組目標	主要活動項目	主管部署
1	二酸化炭素総排出量の削減	(1) 電気使用量 1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・室内温度管理の実施 (冷房期 28℃、暖房期 26℃) ・事務所昼休み時の消灯 ・省エネルギー型照明器具への切替 	全部門
		(2) ガソリン使用量の 1% 削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの実施 ・社有車に低燃費車採用 	全部門 全作業所
		(3) 軽油使用量の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・現場における軽油使用量の把握 	全作業所
2	廃棄物排出量の削減	(1) 一般廃棄物（可燃ごみ）排出量の削減 (可燃ごみ排出量の維持)	<ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみ排出量の把握 ・コピー用紙使用量の把握 	全部門
		(2) 産業廃棄物排出量の削減 (リサイクル率 85%)	<ul style="list-style-type: none"> ・現場での廃棄物発生抑制、分別の徹底 ・マニフェスト管理の徹底 	全作業所
3	水使用量の削減	(1) 水使用量の削減 (水使用量の維持)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な節水活動の推進 	事務所
4	グリーン購入の定着	(1) グリーン購入の定着 (購入額比率 65%)	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン商品の積極的購入 ・省エネルギー基準適合製品の購入促進 	全部門
5	設計・施工における環境配慮の推進	(1) 省エネ設計の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ・省資源化に向けた設計・施工の提案 	設計部
		(2) 環境配慮施工の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・低負荷施工機械の選定 ・化学物質の適正管理 (SDSに基づく現場使用の指導) 	建築部
6	社会貢献の推進	(1) 地域ボランティア活動参加	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣周辺の清掃活動 ・地域貢献活動への参加推進 	全部門 全作業所

備考) ・活動責任者が担当者を兼任する。

(4) グリーン購入の定着取組

- ・省エネルギー基準適合製品の購入促進
- ・グリーン商品の積極的購入



グリーン商品（コピー用紙）



グリーン商品

(5) 設計・施工における環境配慮の推進取組

- ・化学物質の適正管理（SDSに基づく現場使用の指導）
- ・低負荷施工機械の選定
- ・省エネ・省資源化に向けた設計・施工の提案



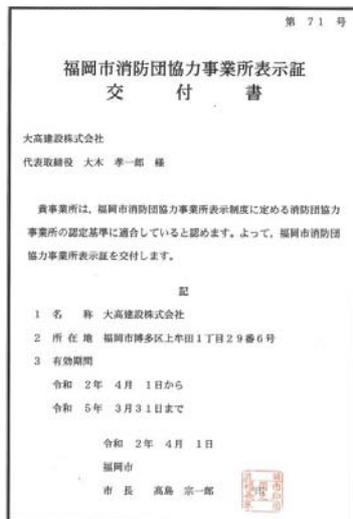
低負荷施工機械の選定



省資源化に向けた設計・施工の提案物件
（スタンパッケージの提案）

(6) 社会貢献の促進取組

- ・地域貢献活動への参加推進
- ・近隣周辺の清掃活動



福岡市消防団協力事業所表示証



近隣周辺の清掃活動の様子

8 環境経営目標の実績

- ・2020年度運用期間中の環境経営目標に対する実績は次のとおりであり、6項目10目標のうちガソリン使用量、設計・施工における環境配慮の推進、社会貢献の推進を除く4項目7目標で目標を達成出来ました。
- ・当社最大の環境負荷である二酸化炭素排出量については、総量で基準年比約6%減、売上げ当たりでは約7%減を達成し、削減効率も上がっています。
- ・本業目標とした「設計・施工における環境配慮の推進」については、当社設計案件が少なかったことが、目標未達の主な原因となっています。
- ・また、CSR活動である「社会貢献の推進」については、コロナ渦で地域ボランティア活動が中止されたことで、参加機会がありませんでした。

環境経営目標	単位	サイト 区分	基準年	2020年度 (2020.4~2021.3)		目標 達成 率	達成 状況 評価	
			2019年度 (2019.4~2020.3) 実績値	目標	実績			
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	全社	164,345	162,702 (▲1%)	152,907	106%	○	
	kg-CO ₂ / 億円	全社	3,444	3,410 (▲1%)	3,210	107%	○	
	(1) 電気使用量の削減	kWh	本社	75,444	74,689 (▲1%)	71,994	104%	○
	(2) ガソリン使用量の削減	L	本社	43,247	42,815 (▲1%)	44,149	97%	△
2 廃棄物排出量の削減								
(1) 一般廃棄物(可燃ごみ)排出量の削減	kg	本社	1,452	1,452	888	164%	◎	
(2) 産業廃棄物排出量の削減	% (リサイクル率)	現場	96	85	89	105%	○	
3 水使用量の削減	m ³	本社	249	249	247	101%	○	
4 グリーン購入の定着	% (購入額比率)	本社	65	65	71	110%	○	
5 設計・施工における環境配慮の推進	件	全社	9	9	4	44%	×	
6 社会貢献の推進 (地域ボランティア活動参加)	人	全社	12	12	9	75%	×	

備考)・達成状況の評価区分 ◎:120%≤目標達成率 ○:100%≤目標達成率<120% △:80%≤目標達成率<100%
×:目標達成率<80% ー:判定不可

・目標達成率の計算 削減目標の場合:目標÷実績×100、増加目標の場合:実績÷目標×100

9 環境経営計画の取組結果とその評価

・環境経営計画の取組結果とその評価は以下のとおりで、取組は適切に実施されました。

(1) 二酸化炭素排出量の削減

- ・電気使用量は使用していないフロアの消灯などが徹底され、節電意識の向上による有効性が確認された。
- ・ガソリン使用量は、遠方の現場が多かったため目標未達だった。今後は、エコ運転の呼びかけを徹底して、使用量の削減に努める。
- ・軽油の使用量の把握は引き続き行う。

No.	環境経営目標	取組目標	目標達成状況	主要活動項目	取組実施状況
1	二酸化炭素排出量の削減	(1) 電気使用量 1%削減	○	・室内温度管理の実施 (冷房期 28℃、暖房期 26℃) ・事務所昼休み時の消灯 ・省エネルギー型照明器具への切替	○
		(2) ガソリン使用量の 1%削減	△	・エコドライブの実施 ・社有車に低燃費車採用	◎
		(3) 軽油使用量の把握	-	・現場における軽油使用量の把握	◎

備考) ・目標達成状況区分 ◎：120%≦目標達成率 ○：100%≦目標達成率<120% △：80%≦目標達成率<100%
×：目標達成率<80% ー：判定不可
・取組実施状況区分 ◎：定着 ○実施されている △：ほぼ実施されている ×：実施されていない
ー：判定不可

(2) 廃棄物排出量の削減

- ・古紙の分別を徹底することで、一般廃棄物の排出量を削減することができた。
- ・産業廃棄物のマニフェスト管理は、電子マニフェストを導入し確実に実行されている。

No.	環境経営目標	取組目標	目標達成状況	主要活動項目	取組実施状況
2	廃棄物排出量の削減	(1) 一般廃棄物(可燃ごみ) 排出量の削減 (可燃ごみ排出量の維持)	◎	・可燃ごみ排出量の把握 ・コピー用紙使用量の把握	◎
		(2) 産業廃棄物排出量の削減 (リサイクル率 85%)	○	・現場での廃棄物発生抑制、分別の徹底 ・マニフェスト管理の徹底	◎

(3) 水使用量の削減

- ・節水活動と呼び掛けることで、水の使用量を削減し目標値を達成することができた。来年度も目標値を達成できるよう、引き続き節水活動と呼びかける。

No.	環境経営目標	取組目標	目標達成状況	主要活動項目	取組実施状況
3	水使用量の削減	(1)水使用量の削減 (水使用量の維持)	○	・日常的な節水活動の推進	◎

(4) グリーン購入の定着

- ・事務用品を中心にグリーン購入率が高かった。今後とも積極的にグリーン購入に努める。

No.	環境経営目標	取組目標	目標達成状況	主要活動項目	取組実施状況
4	グリーン購入の定着	(1)グリーン購入の定着 (購入額比率 65%)	○	・グリーン商品の積極的購入 ・省エネルギー基準適合製品の購入促進	◎

(5) 設計・施工における環境配慮の推進

- ・今年度は当社設計案件が少なかったため、省エネ設計の件数が目標未達だった。今後は、当社設計の建物について省エネ設計を促進する。
- ・環境負荷の少ない建築材料を積極的に使用している。

No.	環境経営目標	取組目標	目標達成状況	主要活動項目	取組実施状況
5	設計・施工における環境配慮の推進	(1)省エネ設計の推進	×	・省エネ・省資源化に向けた設計・施工の提案	×
		(2)環境配慮施工の実施		・低負荷施工機械の選定 ・化学物質の適正管理 (SDSに基づく現場使用の指導)	◎

(6) 社会貢献の促進

- ・近隣周辺の清掃活動は実施できている。
- ・地域貢献活動については、コロナ禍で地域清掃活動が中止になったため目標未達だったが、福岡市消防団協力事業所として社員が消防団活動を行っている。

No.	環境経営目標	取組目標	目標達成状況	主要活動項目	取組実施状況
6	社会貢献の推進	(1)地域ボランティア活動参加	×	・近隣周辺の清掃活動 ・地域貢献活動への参加推進	○

10 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

・2020年度の運用成績を踏まえて、次年度計画は以下のとおりとします。

(1) 環境経営目標 (2021年度)

・2020年度の目標達成状況は概ね良好な結果であったが、今年度策定した中期計画の2021年度目標の一部を見なおして、次年度適用します。

環境経営目標	単位	サイト 区分	基準年	単年度目標	中期目標	
			2019年度 (2019.4~2020.3) 実績値	2020年度 (2020.4~2021.3)	2021年度 (2021.4~2022.3)	2022年度 (2022.4~2023.3)
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	全社	164,345	162,702 (▲1%)	161,058 (▲2%)	159,415 (▲3%)
	kg-CO ₂ /億円	全社	3,444	3,410 (▲1%)	3,375 (▲2%)	3,341 (▲3%)
	(1) 電気使用量の削減	本社	75,444	74,689 (▲1%)	73,934 (▲2%)	73,180 (▲3%)
	(2) ガソリン使用量の削減	本社	43,247	42,815 (▲1%)	42,382 (▲2%)	41,950 (▲3%)
2 廃棄物排出量の削減						
	(1) 一般廃棄物(可燃ごみ)排出量の削減	kg	1,452	1,452	1,452	1,452
	(2) 産業廃棄物排出量の削減 (リサイクル率)	%	96	85	85	85
3 水使用量の削減	m ³	本社	249	249	249	249
4 グリーン購入の定着	% (購入額比率)	本社	65	65	65	65
5 設計・施工における環境配慮の推進	%	全社	-	50	50	50
6 社会貢献の推進 (地域ボランティア活動参加)	人	全社	12	12	12	12

(2) 環境経営計画 (2021年度)

・基本的な取組は変えないが、目標未達成となった以下の取組は重点項目として全社で徹底していきます。

- ① 二酸化炭素排出量の約7割を占める社有車のガソリン使用量については、遠方現場が多くなった場合でも使用量が抑制できる社員のエコ運転技術を高める取組(エコドライブ勉強会等)を徹底していく。
- ② 設計・施工における環境配慮は、今年度は設計案件が少ないことが原因で目標を達成できなかったため、今後は、営業部と設計部が連携を取り、毎月の取組状況を確認して、受託業務量の拡大と対象となる設計案件の数を増やす取組に力を入れていく。

11 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、法令違反はありませんでした。
- ・また、関係機関や利害関係者等からの違反の指摘や訴訟も過去 3 年間ありませんでした。

遵守している主な環境関連法規

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)
- ・労働安全衛生法
- ・資源有効利用促進法
- ・オフロード法
- ・オゾン層保護法
- ・フロン排出抑制法
- ・建築基準法
- ・学校環境衛生の基準
- ・騒音規制法
- ・振動規制法
- ・省エネ法

12 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 取組の全体評価

- ・環境への取組については、環境経営方針ならびに環境経営目標の達成に向けて項目ごとに適切に実施されています。
- ・環境経営目標の達成状況については、ばらつきはあるもののほぼ達成できており、今後も年度目標の達成につなげていきます。
- ・環境経営システムについては、概ね有効に機能していますが引き続き運用状況を検証していきます。

(2) 見直しの結果

- ・今年度より目標設定を見直し、概ね有効に運用できていることから、今後もこの計画の運用結果をみて、見直しの必要性を検討していきます。